

令和 8 年度 三高時報 第 1 号

記事

○ 水戸三高の校内文化発表会が 6 月 18 日(木)・19 日(金)に開催されました。

その内容の特集してお届けいたします。

1 校内文化発表会実行委員長（3 年 3 組 海老沢葉月）より

今年度の校内文化発表は、2 日間での開催や熱中症対策によるオンライン視聴の時間を設けるなど新体制での開催が検討され、文化発表に参加する全員の体調や希望により寄り添った形になったのではないかと思います。また各クラスや部活動の発表、音楽科による発表、ファッションショー、校内展示においてもそれぞれ新たな取り組みがされ、参加団体の増加やクラスを超えた協力があり、100 周年の節目にふさわしい進歩的な年となったと感じています。生徒・先生に関係なく各々が発表に全力で取り組む情熱とそれに応える歓声が混ざり合い、とても感動的な形で文化発表を終えることができ、とても嬉しく思います。企画運営を行った生徒会や先生方ならびに保護者の方々と生徒の皆さん、ご協力本当にありがとうございました。

2 クラス企画

○ 各クラスの企画は次の通りです。それぞれのクラスが劇の表現力や合唱の歌唱力を遺憾なく発揮し、素晴らしいパフォーマンスを披露しました。そして、厳正な審査の結果、全学年で最も高い得点を獲得した 3 年 6 組が最優秀賞に輝きました。また、各学年の最高得点クラスには優秀賞が贈られたほか、数値による評価だけでは測れない独自の魅力や創意工夫を凝らし、特に強い印象を残したクラスには審査員特別賞が授与されました。今回は 3 つのクラスをピックアップし、それぞれのクラスからいただいたコメントをご紹介します。

クラス	企画名	受賞クラス	クラス		
1 年 1 組	ドキドキ・ワクワク☆オレらの青春学園物語！	優秀賞	2 年 5 組	リメンバー・ミー	
1 年 2 組	A・RA・SHI を踊ります		2 年 6 組	今日、好きになりました～2-6 編～	
1 年 3 組	桃太郎改		2 年 K 組	キッチン戦隊 K クルン	
1 年 4 組	スイミ×ポニョ		2 年 M 組	千と千尋の神隠し	優秀賞
1 年 5 組	乙女のフォーチュンクッキー		3 年 1 組	魔女の宅急便	
1 年 6 組	リメンバー・1-6		3 年 2 組	今日、好きになりました。水戸三高編	審査員特別賞
1 年 K 組	合唱 とびら開けて		3 年 3 組	リメンバー・ミー～死者の国での出会い～	
1 年 M 組	レ・ミゼラブル		3 年 4 組	猫の恩返し	
2 年 1 組	ラブ 2-1 上等！		3 年 5 組	耳をすませば	
2 年 2 組	ラブンツェル		3 年 6 組	A Whole New World	👑 最優秀賞
2 年 3 組	魔女の宅急便		3 年 K 組	名探偵コナン～文化祭の漂白剤～ ホワイトカラー	
2 年 4 組	2-4		3 年 M 組	3 年 M 組	優秀賞



🗨 クラス生徒から

★ 3年3組（企画名：リメンバー・ミー～死者の国での出会い～）小松絵里香より

私たちのクラスでは、「リメンバー・ミー」を題材に劇を行い、「ウン・ポコ・ロコ」を歌いました。この曲はリズムを取るのが難しく、ピアノと合わせて練習するのに苦労しましたが、何度も練習を重ねることでタイミングやリズムを揃えていきました。劇では、限られた時間の中で、動きや表現を話し合い、少ない練習でも完成度を高めようと協力して取り組みました。本番では、これまでの練習を活かせるよう全力を尽くしました。リハーサルの時点では劇も歌も完成とは言えず、舞台上での見え方や聞こえ方が分からず不安でいっぱいでしたが、みんなが楽しそうな表情で歌うことができ、三組らしい発表にすることができたと思います。結果を残すことはできませんでしたが、この仲間たちと協力して一つの作品を作り上げたというかけがえのない思い出となりました。この経験を糧に受験に向けてより一層努力していきたいです。



★ 2年M組（企画名：千と千尋の神隠し）松本花音より

私たちのクラスは全部で19人しかいないため、最初は合唱でマイクを使えないと聞いて、「マイク使えないの?!人数的にやばくない?!」と、合唱のクオリティに危機を感じました。そんな私たちですが、試行錯誤や意見交換をたくさんすることで、少しずつ劇や合唱、合奏の流れを詰めていき、最終的には自信を持って発表することができるくらいの内容になったのではないかと思います。少ない人数で効果的に演出を見せる方法を考えるのはとても大変でしたが、みんなで課題に取り組み、問題を解決していく過程はとてもやりがいのあるものでした。最後まで不安な気持ちを抱えながら発表に臨みましたが、最後には賞を取ることができ、とても嬉しく感じています。



★1年4組（企画名：スイミ×ポニョ）石井晴也より

私は文化発表会で、クラスの代表として初めて全員の前に立って話をしました。本題に入り、劇の内容や歌う曲を決めようとしたのですが、なかなか案が出てきませんでした。その後、劇や歌の内容は決まったものの、私は「自分にはクラス全員をまとめる才能がない」と実感しました。そして、今すぐクラスの代表を辞めてしまいたいと感じました。しかし、私が一人で悩んでいたとき、クラスの副代表や他のクラスの代表の人たちが親身になって相談に乗ってくれました。その経験を通して、自分だけで解決しようとするのではなく、友達に助けってもらうことの大切さを知ることができました。そのおかげで準備は順調に進み、文化発表会当日を迎えることができました。そして、クラス全員が団結して文化発表会を終えることができました。一人で考えることも大切ですが、つらくなったときや投げ出したくなったときに、自分の心の支えとなってくれる人を大切にすることの重要性を、この文化発表会を通して学ぶことができました。



3 家政科（K組）ファッションショー、音楽科（M組）演奏

★家政科ファッションショー総合チーフ（3年K組 江橋実結）より

ステージからの景色は、これまで積み上げてきた失敗と苦悩で美しく輝いていました。あの時流した辛さと悔しさはこうして姿を変えるのだなと思いました。階段を降りてからは今までの思いを噛み締めながら歩きました。フィナーレが終わって、緞帳が下がり切ったあの瞬間、流れ落ちたものは今までとは違い、とても暖かいものでした。あの時挫けなくて本当に良かった。あの時前を向けて良かった。今まで感じてきたもの、ぶつかってきたものを思い返すと、色々な感情が流れ落ちてきました。このファッションショーがこの仲間達で、後輩達でできたことが何より嬉しかったです。この為に運営側で進めてくれた家政科1、2年生、最後まで一緒に走ってくれた家政科3年生、直前までご指導をしてくださった家政科の先生方、応援してくださった先生方、生徒の皆さん、そして、常に近くで支えてくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



4 部活動発表（ステージ&展示）

🎭 ステージ発表

ステージ発表では、軽音楽部、吹奏楽部、書道部、ダンス部、演劇部、コーラス部の計6つの部活動が日頃の活動の成果を存分に発揮し、文化発表会を大いに盛り上げました。その中でも今回は、演劇部と書道部をピックアップしてお届けします。

★演劇部（3-2 齋藤佑衣）より

多くの三高生の皆さんに見守られながら、演劇部のステージ発表を無事に終えることができました。今回の公演は、脚本の制作から演出まで全て部員だけで考え、一つの作品を作り上げました。なかなか部員が揃わない中で、より良い舞台を目指して意見を出し合い、協力して準備を進めてきました。本番では、観客の皆さんを巻き込む演出にも温かい反応をいただき、笑いや拍手が私たちの大きな励みとなりました。また、3年生にとっては最後の公演となりましたが、部員全員で最高の作品を届けることができ、とても思い出に残るステージとなりました。この経験を後輩たちにも受け継ぎ、これからも皆さんに楽しんでいただける舞台づくりを目指して活動していきます。ご観覧いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



★書道部（2-1 綿引真央）より

書道パフォーマンスでは、準備の段階から本番まで、仲間と協力して一つの作品を作り上げる楽しさをたくさん感じることができました。最初は文字の配置や動き、タイミングを合わせることが難しく、何度もやり直すことがありました。しかし、みんなで意見を出し合いながら練習を重ねることで、少しずつ完成に近づいていきました。練習では大変なこともありましたが、休憩時間に話したり笑い合ったりする時間も楽しく、仲間との絆が深まったように感じました。本番はとても緊張しましたが、今までの練習を信じて全力で取り組むことができました。作品が完成した瞬間や、観客から大きな拍手をもらえたときは、とても達成感があり、「頑張ってきてよかった」と心から思いました。準備から本番までのすべての時間が、忘れられない大切な思い出になりました。

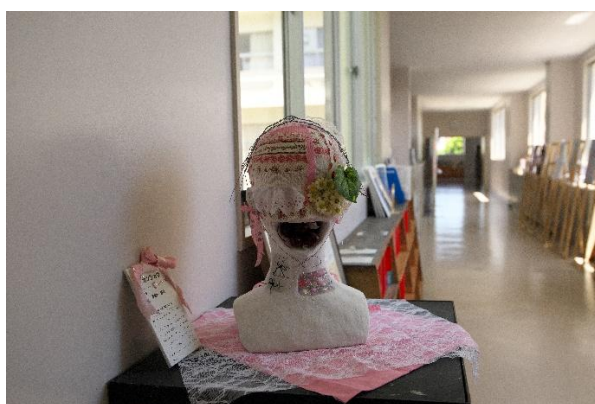


🗣️ 展示発表

校内の廊下や昇降口付近では、JRC 部、写真部、美術部、文芸部、書道部、漫画研究部、家庭部の計 7 つの部活動によるこだわり抜かれた展示が行われました。その中でも今回は、美術部と JRC 部をピックアップしてお届けします。

★美術部（3-6 関夕樹菜）より

今回の校内文化発表では、美術部のテーマである「ロリータ展」に沿って作品を制作しました。私は、ケーキという甘く華やかなモチーフを用いながら、その中にある少女の自意識や複雑な感情を表現したいと考えました。かわいらしさだけでなく、自分を飾りたい気持ちや見られることへの意識なども作品に込めています。制作では、透明感のある青色を中心に色彩を工夫し、甘い世界観と少し不安定な心情が同時に伝わるよう意識しました。細部の描写にも力を入れて作品全体の統一感を高めることも意識しました。この展示会を通して、多くの人に作品を見てもらい、自分の作品を見てもらう楽しさを改めて感じました。今後も技術の向上だけでなく、自分ならではのテーマや感情を作品に落とし込み、より深みのある表現を目指していきたいと思います。



★JRC 部（3-5 矢部葵）より

私たちは校内文化発表会で、JRC 部の活動としてペットボトルキャップアートの展示を行いました。学校内で集めているペットボトルキャップを使い、2つの作品を作りました。また、生徒の皆さんや先生方に JRC 部の活動の目的や活動内容を知ってもらうために、ペットボトルキャップのリサイクルの方法や JRC 部の活動内容について紹介する模造紙も作成しました。制作では、まず部員全員でキャラクターを決め、キャップの数を数えたりスプレーを使ってキャップに色をつけたりしました。部員それぞれが活動する日を決めて放課後に協力して作品を作り上げました。細かい作業で難しい部分もありましたが作品が完成した時はすごく達成感がありました。文化祭当日は多くの人に作品を見てもらうことができ、作品を褒めてもらえることもあってとても嬉しかったです。今回の経験を通して、JRC 部のことを多くの人に知ってもらえてとてもいい経験になったと思います。

